

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**佐賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和4年3月22日認定）**  
（最終変更 令和5年3月31日）

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	.....	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	.....	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	.....	5
3 松原公園整備事業	.....	6
4 旧馬場家住宅保存修理事業	.....	7
5 山口亮一旧宅保存修理事業	.....	8
6 武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業	.....	9
7 史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業	.....	10
8 歴史的風致形成建造物保存修理事業	.....	11
9 まちづくりファンド活用事業	.....	12
10 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	.....	13
11 三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業	.....	14
12 長崎街道再整備事業	.....	15
13 新馬場通り(松原神社参道)整備事業	.....	16
14 佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業	.....	17
15 緑化推進事業	.....	18
16 幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業	.....	19
17 案内・説明看板及び誘導看板データ化事業	.....	20
18 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	.....	21
19 地域文化保存・継承支援事業	.....	22
20 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	.....	23
21 指定文化財管理台帳等作成事業	.....	24
22 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	.....	25
23 佐賀市文化財総合活用推進事業	.....	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定、保存管理計画の策定	.....	27
2 文化財の修理(整備)、防災に関する事業	.....	28
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	.....	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	30
⑥その他(効果等)(様式1-6)	.....	31

**口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)** ..... 32

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。  
 また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市歴史まちづくり協議会の開催：令和4年6月3日(金)  
同協議会では、歴まち事業の進行管理に関する協議を行った。
- 佐賀市歴史まちづくり事業調整会議：開催なし
- 庁内の関係課と、事業に関する実施協議を個別に行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 第23回佐賀市歴史まちづくり協議会  
開催日：令和4年6月3日(金)  
(議題)  
・令和3年度の事業進捗、評価について  
・佐賀市歴史的風致維持向上計画(第2期)の事業について  
・佐賀市歴史的風致形成建造物の指定について  
・現地視察(柳町思案橋広場)



【第23回協議会】



【現地視察】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。  
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成28年度末までに12路線12区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の町割を継承する佐賀城下町において、時代に沿った都市計画道路の見直しにより、町割の大きな改変が行われることがなくなり、歴史的風致の維持向上に寄与した。  
 ●令和4年度：1路線(尼寺小川線(W=13m L=1,670m))の廃止(一部区間見直し)について県と協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

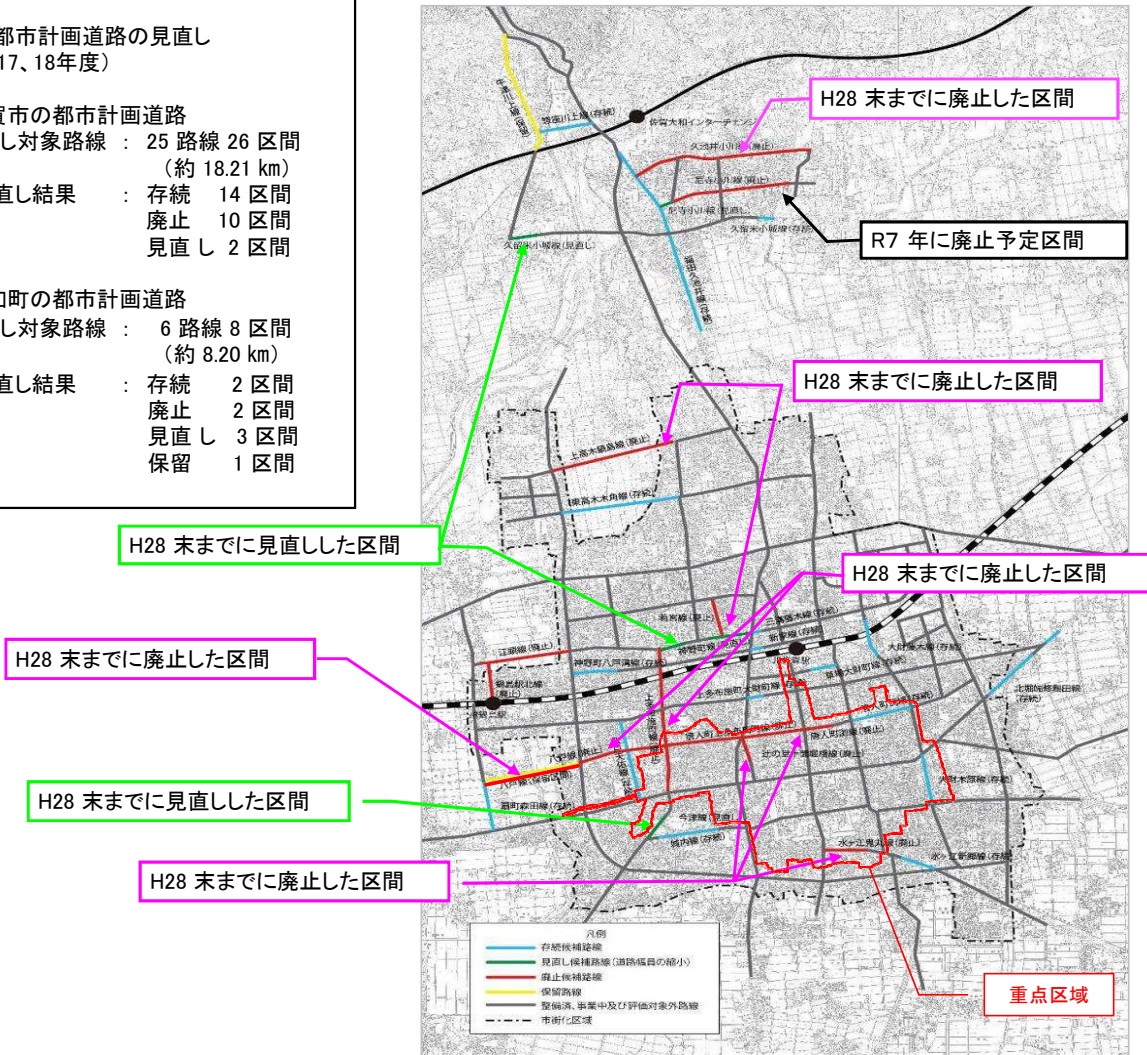
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直し  
(平成17、18年度)

旧佐賀市の都市計画道路  
 見直し対象路線：25路線 26区間  
 (約18.21km)  
 見直し結果：存続 14区間  
 廃止 10区間  
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路  
 見直し対象路線：6路線 8区間  
 (約8.20km)  
 見直し結果：存続 2区間  
 廃止 2区間  
 見直し 3区間  
 保留 1区間



【都市計画道路網見直図】

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

本市では、景観法に基づく佐賀市景観条例及び佐賀市景観計画を平成24年度に施行し、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付けている。そのエリアの一つである「佐賀城下町周辺エリア」は、重点区域の「佐賀城下町地区」を包括した区域となっており、「景観形成地区」(長崎街道・柳町景観形成地区、城内景観形成地区)では、それぞれに景観形成方針、景観形成基準等を定め、当該地区内の良好な景観形成を図っている。

また、景観計画では、本市全域を景観計画区域とし、一定規模以上の建築物等の新築、増築、外観の変更を伴う修繕などを行う場合には、事前の佐賀市長への届出又は通知を義務付け、良好な景観の形成に向けた誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を包含する景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」では、はり紙等の屋外広告物のパトロールや撤去を重点的に実施し、歴史的風致の維持向上に努めた。また、景観の重要性についての市民意識の向上を促進することを目的として、景観ウォッチング～城内まち歩き～を開催した。

●平成23年10月「景観条例」制定 平成24年1月「景観計画」変更 平成24年4月「景観条例」施行

●令和4年度：

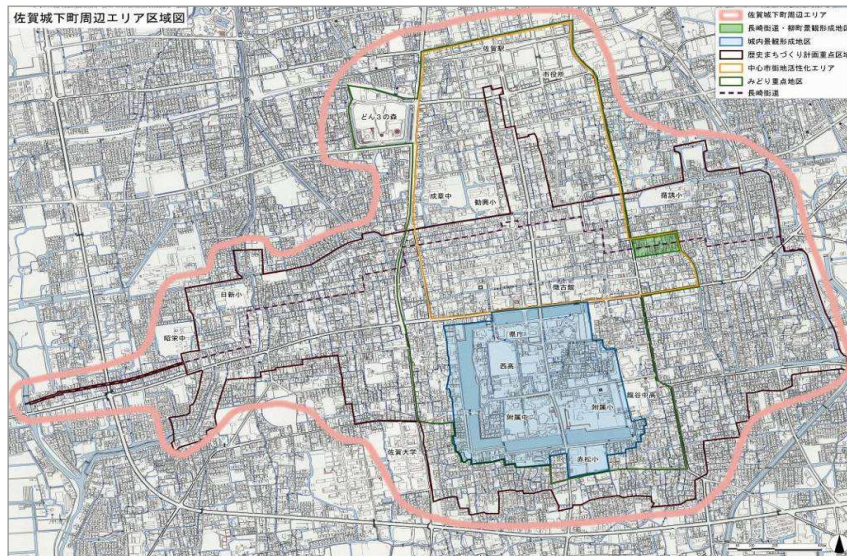
- 景観法に基づく届出等の件数  
 市域全体：105件(景観形成地区を除く。)  
 長崎街道・柳町景観形成地区：0件  
 城内景観形成地区：6件
- 景観ウォッチング～城内まち歩き～の実施

進捗状況 ※計画年度次の対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」】

凡例					
	佐賀城下町周辺エリア		長崎街道・柳町景観形成地区		城内景観形成地区
	重点区域 (歴史まちづくり計画)		中心市街地活性化エリア		みどり重点区域



【違反屋外広告物撤去活動の様子】



【景観ウォッチング～城内まち歩き～の様子】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

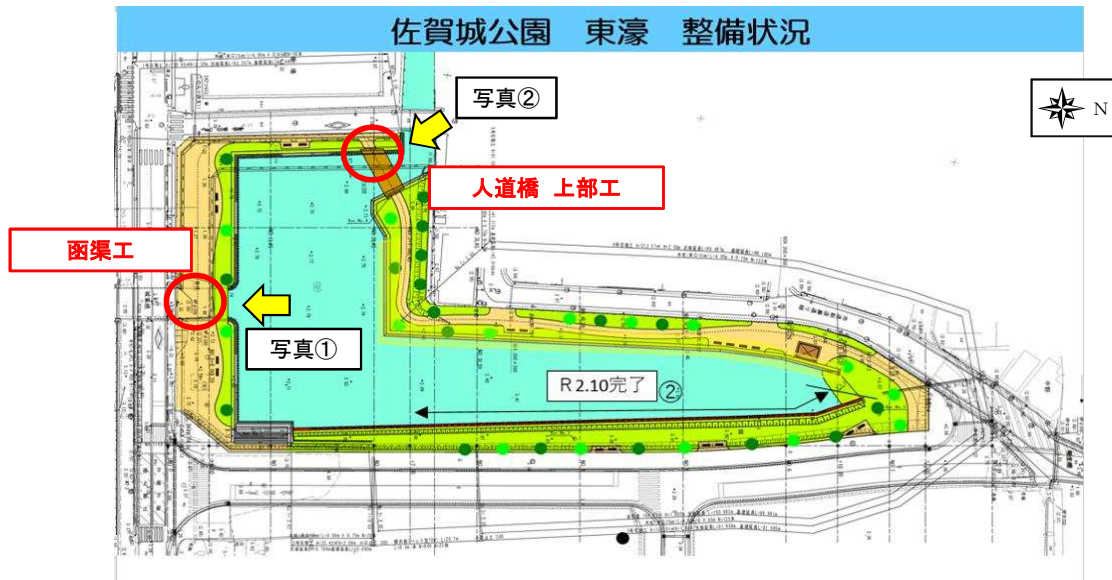
事業期間	昭和43年度～令和13年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)
計画に記載している内容	第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度：平成30年度に開催した「佐賀城公園好生館立体駐車場跡地整備検討会」の結果をもとに、函渠工事等を実施。(函渠工、人道橋上部工 施工完了)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【① 函渠工】



【② 人道橋上部工】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和13年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成した。昭和36年から昭和38年にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度：修繕工法等の検討

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化庁との協議の結果、石垣の耐震診断の必要性が指摘されたが、その参考となる事例が少ないため、熊本城の石垣修繕の工法等を調査し検討を行う。

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」】



【西面から】



【東面から】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
松原公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 松原公園の整備は、これまでに全体計画区域を定めた上で、国宝を含む佐賀藩鍋島家伝来の歴史資料を所蔵・展示する徴古館周辺を第一期区域として借地公園の手法により整備し、公園の開設を行った。  
 今後も、整備可能な区域から順次公園区域を拡大し、整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成30年度、令和元年度、令和2年度：関係者協議
- 令和3年度：松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会を設置  
令和3年8月6日(金)、令和4年3月29日(火)に懇話会を開催した。
- 令和4年度：令和4年8月18日(木)、令和5年1月27日(金)、令和5年3月27日(月)に懇話会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【松原公園第一期整備エリアの現況(南から)】



【松原公園整備将来構想エリア図】



【令和4年8月18日懇話会】



【令和5年1月27日懇話会】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
旧馬場家住宅保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 旧馬場家住宅は、18世紀末から19世紀初頭の建築とされ、佐賀藩の藩医を務めた漢方医の高宗弘堂が居住し、この家で開業したと伝えられる。表構えは土蔵造で、他の町家とさして変わらないが、間取りは武家屋敷に近いものとなっている。表の腕木門も同時期のものと考えられ、江戸期建築の貴重な歴史的建造物である。  
 平成31年(2019)に所有者から本市へ寄附されたこの旧馬場家住宅の、保存修理及び公開活用のための改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度：一部漆喰壁の応急的修理、下屋の解体工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	旧馬場家住宅が建つエリアは歴史的建造物が多く残るエリアである。そのため、これらの建物のことを考えつつ、保存修理や活用方法を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



【旧馬場家住宅】



【修理前(漆喰壁)】



【修理後(漆喰壁)】



【解体前(下屋)】



【解体後(下屋)】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
山口亮一旧宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 明治期の佐賀を代表する洋画家として知られる山口亮一画伯の居宅で、城下西側の武家地に位置している。主屋は、白石の須古の医師であった山口家が江戸時代(天保期)に移築されたものと伝えられている。明治期及び戦後に大幅な改築が行われているが、武家屋敷が少ない佐賀城下のなかで、往時の雰囲気を残す建造物として価値が高い。平成4年(1992)に本市に寄附されたのち、平成18年(2006)から、展示会、講演会、趣味の講座等の会場として活用してきたが、老朽化が著しいことから、保存・活用のための修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度：現況調査、簡易耐震診断

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建造物の歴史的価値の保持、活用の利便性等を向上するため関係者との協議を進め、歴史的価値を活かす保存計画を策定していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



【外観(北西面)】



【外観(南面)】



【内観】



【過去の活用の状況】

## 評価軸③-2

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年度～令5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	<p>武家地のなかでも上級武士の屋敷地が立ち並んでいた中の小路に、唯一現存する武家屋敷の門である。構造形式は極めて質素であるが、佐賀城下の上級武士の武家屋敷遺構が少ない中、往時の雰囲気を残す門として価値が高い。昭和46年(1971)に市の重要文化財に指定されて以降、小規模な修理を積み重ねながら維持してきたが、屋根瓦のずれが大きくなり、全体的に老朽化が著しくなったことから、大規模な保存修理を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●令和4年度:所有者(管理者)との協議、保存修理方法の検討			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者等による武家屋敷の門周辺の利用状況の変化に応じて調整を図りながら、文化財の再調査も含めた保存修理の具体的な方法を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【重要文化財「武家屋敷の門(中の小路)」】</p> 			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 史跡範囲の大部分は、地下の遺構の保全を図った上で、「佐野常民公園」として整備されている。現在、仮整備として遺構の一部の平面表示を行っている。来訪者に史跡三重津海軍所跡への理解をより一層深めてもらうため、遺構の平面表示などの史跡整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

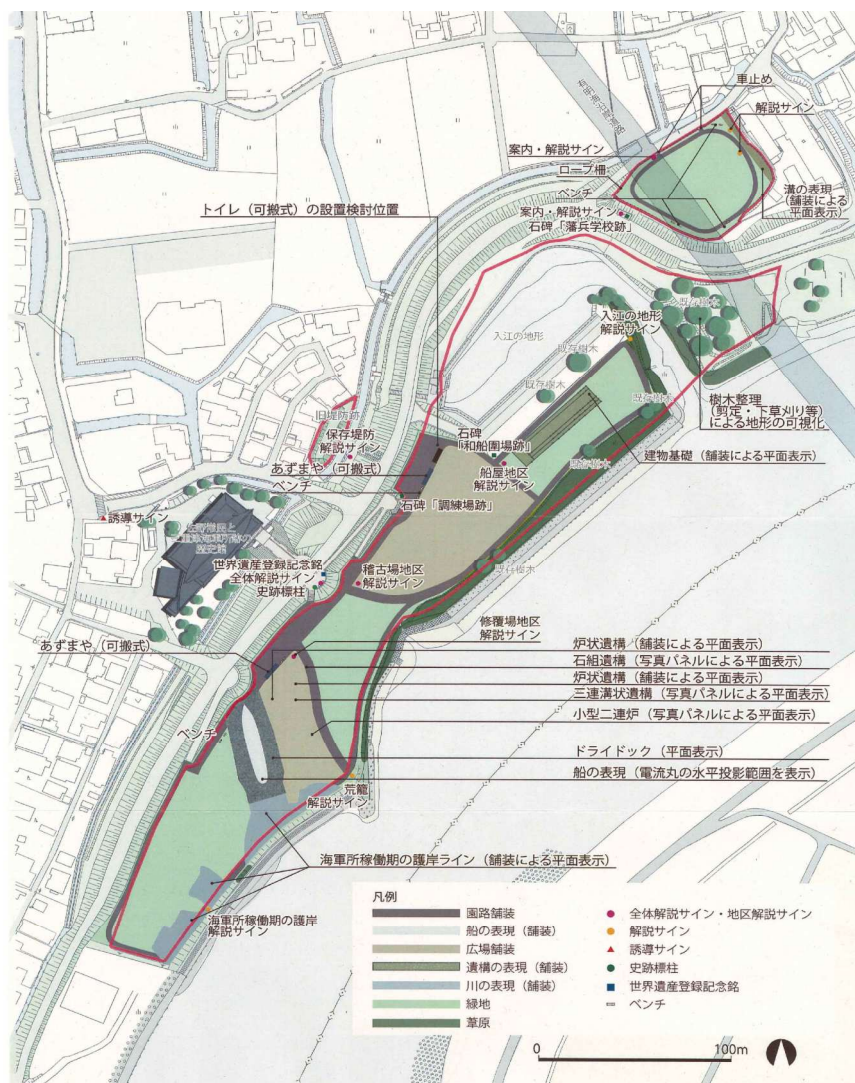
令和4年度：三重津海軍所跡整備屋外展示追加基本設計を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

史跡三重津海軍所跡 全体平面図（整備計画案）



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
歴史的風致形成建造物保存修理事業		現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。

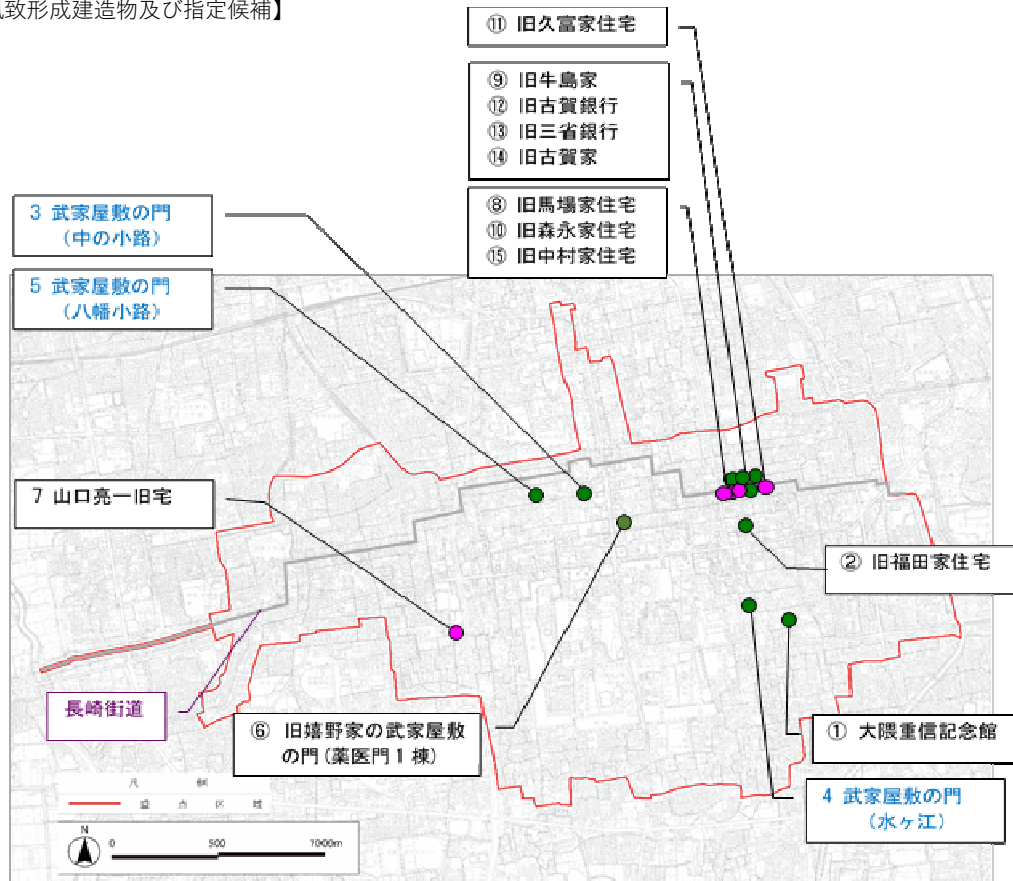
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和4年度：
  - 補助実績なし
  - 歴史的風致形成建造物指定：12件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物及び指定候補】



歴史的風致形成建造物及び指定候補  
(青字は指定候補)

- 市指定文化財及び登録有形文化財
- 文化財未指定の歴史的建造物

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
まちづくりファンド活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和13年度

支援事業名 佐賀市ふるさとづくり基金

計画に記載している内容  
 佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。  
 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業  
 ② 中央大通り沿線賑わい空間創出事業  
 ③ 歴史的建造物等活用事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度採択事業 2件

- (株)前田:本市が定める中央大通りトータルデザインに即した建物に改修し、良好な景観形成に寄与した。
- 小宮眞宏:本市が定める中央大通りトータルデザインに即した建物に改修し、良好な景観形成に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●(株)前田

【着工後】

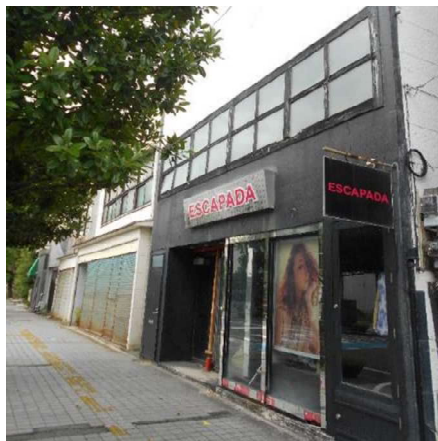
【着工前】※更地



●小宮 眞宏

【着工後】

【着工前】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目			現在の状況
案内・説明看板及び誘導看板整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和13年度
------	---------------

支援事業名	重点区域内：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 重点区域外：市単独事業
-------	---

計画に記載している内容	案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。 重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

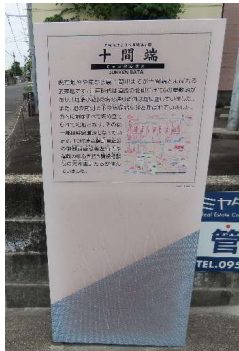
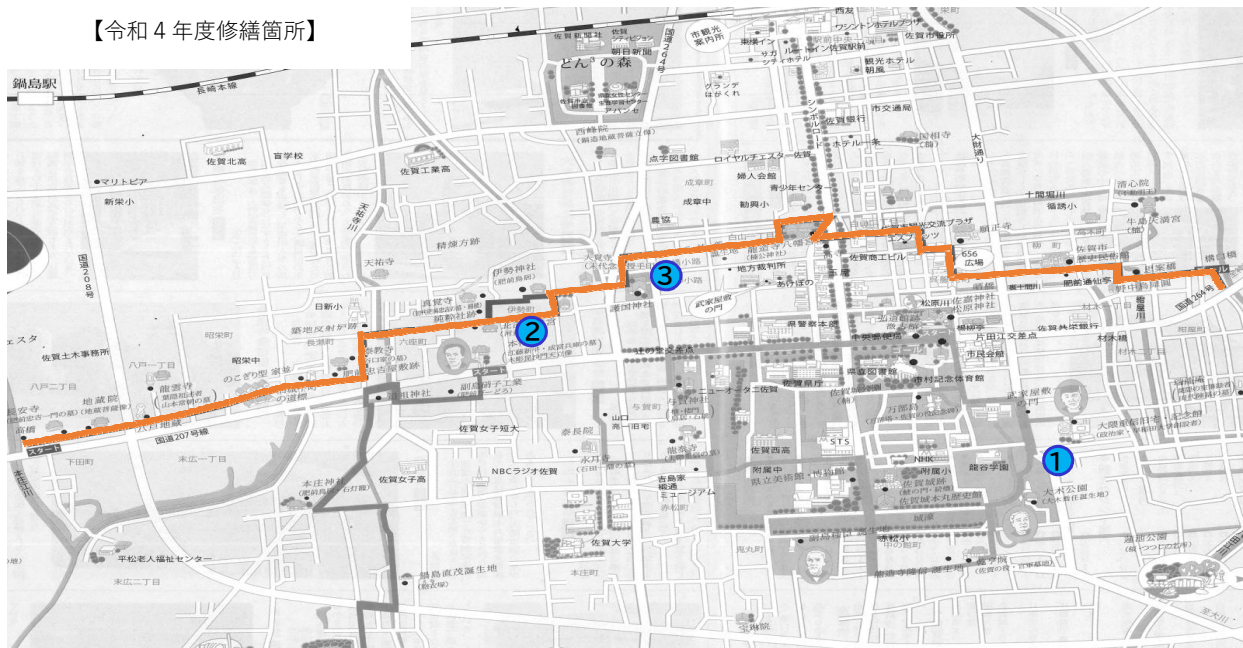
- 平成26年度：整備計画策定
- 平成27年度：案内看板2基、説明看板8基、誘導看板9基
- 平成28年度：案内看板2基、説明看板10基、誘導看板5基
- 平成29年度：案内看板5基、説明看板11基、誘導看板5基
- 平成30年度：案内看板3基、説明看板7基、誘導看板6基
- 令和元年度：案内看板1基、説明看板13基
- 令和2年度：案内看板5基、説明看板6基
- 令和3年度：既存説明看板5基の内容修正
- 令和4年度：既存説明看板3基の修繕

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域外の看板整備について未実施であり、設置箇所や現状等の調査が必要。
--	--------------------------------------

状況を示す写真や資料等

【令和4年度修繕箇所】



【①修繕前】



【①修繕後】



【②修繕前】



【②修繕後】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである三重津海軍所跡やガイダンス施設である「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」への誘導を円滑かつ安全に行うとともに、周辺に点在する歴史的資産や街なみを快適に散策できるように、周遊ルートの環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度:実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和5年3月20日、史跡「三重津海軍所跡」の追加指定が行われた。今後の屋外整備の状況なども考慮しながら周遊ルート環境整備についても検討を行っていく。

状況を示す写真や資料等



景観に配慮した防護柵  
(イメージ)



誘導カラー舗装  
(イメージ)



誘導看板  
(イメージ)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
長崎街道再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 曲がり角が多い長崎街道は道筋がわかりにくい上に、新たな都市計画道路や開発で分断されている部分もある。このため、長崎街道沿線に残る歴史的建造物や赤石護岸、棚路を探訪しながら、気軽に長崎街道を歩けるように、長崎街道の道筋を明確化する舗装の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：測量設計(委託)実施、整備計画策定
- 平成27年度：整備延長 L=750m
- 平成28年度：整備延長 L=455m
- 平成29年度：整備延長 L=600m
- 平成30年度：整備延長 L=420m
- 令和元年度：整備延長 L=562m
- 令和2年度：整備延長 L=310m
- 令和3年度：整備延長 L= 81m
- 令和4年度：事業実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

第2期計画に基づき、必要な整備を行う。

状況を示す写真や資料等

【位置図】



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
新馬場通り(松原神社参道)整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 松原神社参道は、かつては木・銅・石の鳥居及び両脇参道に灯笼などが立ち並び、沿線には旅館などが建ち賑わっていたが、現在は石の鳥居が唯一残っている状態である。  
 現在、市民団体による参道の復活を目指したまちづくりが進められており、この運動と連携した松原神社参道(市道)の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：新馬場通りデザインルール策定
- 平成30年度～令和元年度：関係者協議
- 令和2年度：関係者協議、測量・設計委託業務
- 令和3年度：隣接地権者との道路整備方針決定、試掘調査、工事準備、着工
- 令和4年度：掘削作業中に木柱、赤石等が発掘され、文化財課による調査のため工事休止中。

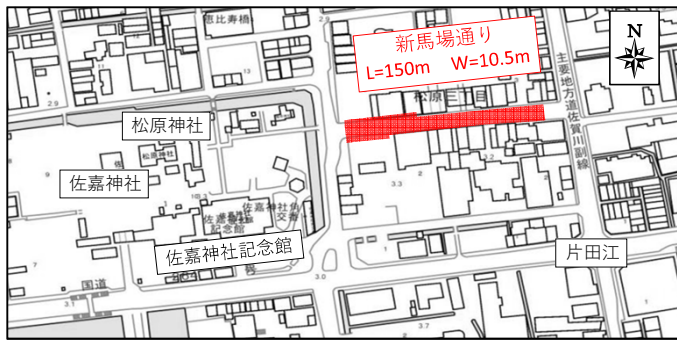
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 掘削作業中に文化財【木柱、赤石等】が発掘され、文化財課による調査が必要となった。この調査に不測の日数を要し令和5年度に事故繰越をしている。

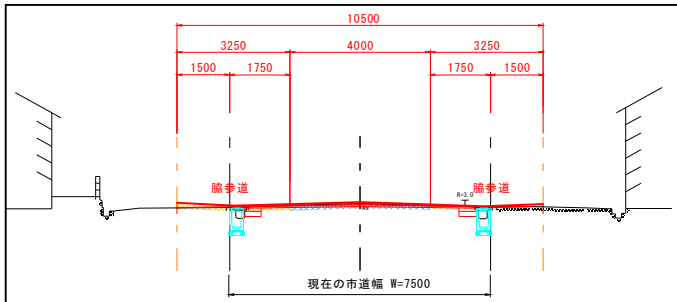
状況を示す写真や資料等

【位置図】

【令和4年度整備箇所：松原三丁目】



【計画横断面図】



【大正時代頃の参道(東から)】



【現在の新馬場通り(東から)】

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 来訪者のための2箇所の駐車場の再整備と佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートの舗装の高質化事業及び木橋の架替と橋の取付護岸などの整備を行う。

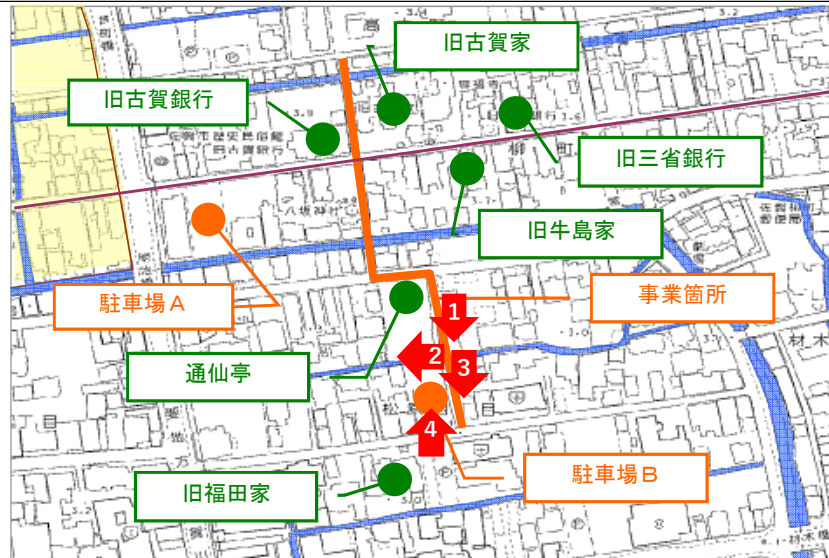
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和2年度、令和3年度：関係者協議
- 令和4年度：護岸築造測量設計

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	他事業の進捗状況を考慮した上で、関係者と協議を行う。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



1. 連絡通路  
奥は駐車場B、架替する木橋



2. 取付護岸整備



3. 連絡通路



4. 駐車場B

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)助成制度 市単独事業		
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀市みどりあふれるまちづくり条例」に基づき、公共施設の緑化推進や自治会などが公共的な場所で行う地域環境緑化活動への支援、民有地の緑化に対する支援などを行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●みどり重点地区内の事業

- ・緑化啓発活動：9件
- ・自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援：19団体(花苗、多年草苗 23,405苗)
- ・緑化に関する計画の完了：1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【花づくりボランティア活動 (中央大通り)】



【寄せ植え講座 (市役所前公園)】



【花とみどりのまちづくりリーダー緑化活動  
(駅前まちかど広場)】



【寄せ植えコンテスト (旧古賀家庭園)】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 令和4年度

項目	現在の状況
幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 佐賀藩が他藩に先駆けて近代化に取り組んだことを示す資産群(「幕末佐賀藩近代化産業遺産」)について、適切な保全を行いながらさらなる調査を進め、佐賀藩の果たした功績を広く市民及び来訪者に周知するとともに、次世代に継承していくための取組を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度:精煉方跡の発掘調査を実施。11月26日に現地説明会を開催(参加者数110名)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【精煉方跡発掘調査】



発掘調査地全景(南から)



現地説明会の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
案内・説明看板及び誘導看板データ化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 令和4年度:新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

計画に記載している内容 本市に点在する指定文化財や歴史資産の案内・説明看板、誘導看板を統一感のあるデザインにより作成し、これまでに98基の設置を行ってきた。これらの位置や記載内容をデータ化し公開する。その際には、看板サイズの関係から版面への掲載を見送った内容や写真等を新たに追加し、内容を充実させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

佐賀県が再整備した、佐賀の歴史を学べる学習コンテンツ上に、佐賀市が平成27年度から令和2年度にかけて設置した98基の看板のうち、誘導看板を除く73基の案内・説明看板のデータを掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【コンテンツ画面】

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
徴古館を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	(公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」(平成20年10月3日締結)及び「まちづくりに関する基本協定」(平成31年3月8日締結)に基づき、徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、企画展及び企画展に関連した各種イベントを開催した。また、「市報さが」の毎月1日号に「鍋島家のお姫さま」と題して、佐賀と他の地域とのご縁をつないだお姫さまにまつわる歴史コラムを連載し、本市の歴史に対する市民意識の高揚を図った。また、本市と鍋島報効会主催で「佐賀市松原」の歴史にスポットをあてたパネル展を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

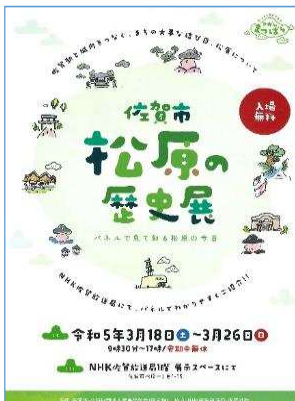
●展覧会(徴古館)

- 「鍋島家のお姫さま」展  
令和4年6月18日(土)～8月21日(日) 入館者数 658人
- 「みんなで選ぶ! 鍋島家伝来きもの総選挙」展  
(同時開催) 鉄道開業150年記念ミニ展示「佐賀藩と蒸気車」展  
令和4年9月17日(土)～11月23日(水・祝) 入館者数 1,364人
- 鍋島家の雛祭り: 令和5年2月11日(土)～3月21日(火) 入館者数 7,768人 関連イベント4,368人



●その他

- 「佐賀市松原の歴史展」(NHK佐賀放送局1階)  
令和5年3月18日(土)～3月26日(日)



【佐賀市松原の歴史展】



【市報さが連載「鍋島家のお姫さま」】

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(令和4年度採択事業/概要)

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業：0件
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業：3件
  - 高木瀬歴史散歩マップ作成/高木瀬の身近な旧所名跡等と散歩コースを織り交ぜながら紹介する歴史散歩マップを作成した。
  - 新田天満宮鳥居補修事業/久保田町新田地区の氏神様として親しまれている新田天満宮の鳥居のひび割れを補修した。
  - 東崎ヶ江地蔵堂改修/川副町東崎ヶ江地区で行基伝説と共に守り伝えられてきた地蔵堂の老朽化による改修を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【高木瀬歴史散歩マップ作成】



【新田天満宮鳥居補修事業】



【東崎ヶ江地蔵堂改修】

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

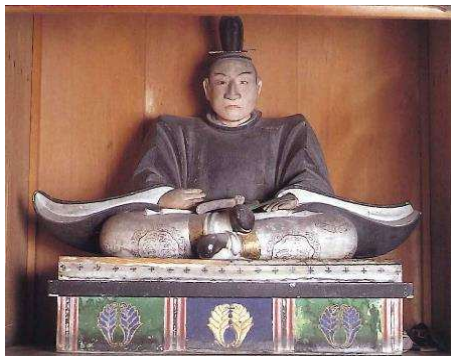
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 88件  
 (目的)  
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことにより、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

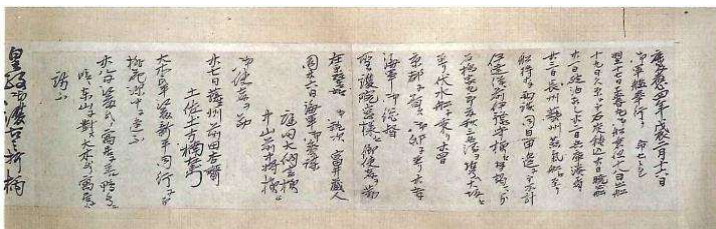
- 令和4年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧
  - 佐賀市指定重要文化財の管理者：58件  
 絵画4件、建造物12件、工芸品12件、古文書3件、書跡3件、彫刻14件、美術工芸3件、歴史資料6件、石造物1件
  - 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者：8件
  - 佐賀市指定史跡の管理者：11件
  - 佐賀市指定天然記念物の管理者：11件



木造鍋島直坐像(1軀)  
 市重要文化財(彫刻)  
 所有者等 高伝寺



大涅槃像  
 市重要文化財(絵画)  
 所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記(1巻)  
 市重要文化財(書跡)  
 所有者等 個人



大小野の石楠花(1株)  
 市天然記念物  
 所有者等 個人

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
指定文化財管理台帳等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市には、国・県・市の指定文化財が合わせて226件(令和3年(2021)10月31日現在)あるが、それらの文化財に関する詳細な情報や、指定に至る経緯等を記した資料については、個別の紙媒体しか存在しない。そこで、これらの情報を一元化し記録検索が行える管理台帳及び要覧を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財課及び各支所に保管されていた指定文化財関連資料等の収集・整理			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各資料の作成当時の年代や作成した合併前町村等によって異なる様式等で保存されている指定文化財の関連資料について、検索等が行い易い管理台帳に一元的に集約できるように引き続き整理及び関連資料の確認等を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【収集・整理中の国、県及び市指定文化財関係紙媒体資料】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 12無形民俗文化財 13団体  
 国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、無形民俗文化財の保存会等が実施する活動(行事の運営等の活動に係る経費、継承等につながる活動に係る経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体  
 指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度以降コロナ禍により行事の実施が困難な状況となっており、そのような中でも各地域で無形民俗文化財を地域固有の文化として引き続き継承していけるよう、行政と保存会等が協力しながら支援を実施してかなければならない。
--	---

状況を示す写真や資料等



- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 申請対象保存会一覧  
 (新型コロナウイルス感染症の影響で中止や規模縮小あり)

	名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1	白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2	見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野神社	加勢鳥保存会
3	浮立玄蕃一流	市指定	神野町西神野	掘江神社	東神野天衝舞浮立保存会
					西神野浮立保存会
					草場浮立会
4	高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
5	小松の浮立	市指定	蓮池町小松	小松神社	小松浮立保存会
6	三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
7	太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
8	市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
9	海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	海童神社奉納浮立保存会
10	松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	松枝神社奉納浮立保存会
11	東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
12	快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会

- 指定無形民俗文化財保存会代表者会議(令和4年5月16日開催) 12無形民俗文化財、13団体
  - ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
  - ・各団体の課題・問題点などの意見交換

## 評価軸③-23

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
佐賀市文化財総合活用推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)		
計画に記載している内容	本市の国・県・市指定無形民俗文化財の代表者等で構成される、佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が実施する無形民俗文化財の映像記録作成等に対し、引き続き財政的支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●文化財総合活用推進事業 2件(東与賀銭太鼓、白鬚神社の田楽)            指定無形民俗文化財の保存会の代表者で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が、文化庁及び市からの補助を受けて無形民俗文化財の映像記録を作成し、各保存会の活動等において活用を図る。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和2年度及び令和3年度にはコロナ禍による行事中止のため映像記録作成が実施できず、令和4年度もコロナ禍により予定3団体中1団体が実施できなかったが、本事業の財源として活用している文化芸術振興費補助金の令和6年度以降の実施が未定であるため、今後の活用事業を含め、映像記録未作成団体の作成時期、方法等を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■実行委員会の開催 (令和4年5月16日開催) 12無形民俗文化財、13団体            ・令和4年度映像記録作成文化財(保存団体)の決定</p> <p>■文化財総合活用推進事業            ・令和4年度映像記録作成文化財 実施 2件: 東与賀銭太鼓、白鬚神社の田楽            中止 1件: 海童神社奉納浮立(コロナ禍による行事中止の判断のため)</p>			
【作成した映像記録DVD】			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定、保存管理計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。 ●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財調査 ○市域全体 確認調査166件 本調査5件 ○うち歴まち計画重点区域 確認調査15件 本調査0件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●歴まち計画重点区域内確認調査状況  【周知の埋蔵文化財包蔵地外（新馬場通り）】			
			
銅鳥居基礎石組遺構検出状況（北から）			
			
銅鳥居基礎石組遺構検出状況（東から）			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、防災に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	●指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。 ●既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財の修理 ○佐賀市重要文化財 新北神社楠木No.1 剪定・樹勢回復及び支柱取替え事業 ●防災関係の取り組み ○文化財防火訓練 ・令和5年1月22日(日) 吉村家住宅(重要文化財) ・令和5年1月29日(日) 佐賀城鯨の門及び続櫓(重要文化財) ●防犯対策の取り組み 重要文化財である佐賀城鯨の門及び続櫓や、市指定の文化財を収蔵している肥前国庁跡資料館、文化財資料館について、警備委託を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●文化財の修理 ○佐賀市重要文化財 新北神社楠木No.1 剪定・樹勢回復及び支柱取替え事業			
			
●文化財防火訓練			
○佐賀城鯨の門及び続櫓(重要文化財)		○吉村家住宅(重要文化財)	
			

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ●文化財に関する普及啓発の取り組み  
 まちづくりの市民団体と連携し、歴史資産についての正確な情報提供を積極的に行って、市民や来訪者に本市の魅力  
 を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●主な普及啓発事業  
 ○歴史、文化をテーマとした講演会や出前講座の開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■歴史・文化施設 令和4年度来場者数  
 ○徴古館：10,029人(企画展(2回)、「鍋島家の雛祭り」、その他イベント)  
 ○大隈重信記念館：11,546人(企画展「大隈重信と津田梅子」、その他イベント)  
 ○佐賀市歴史民俗館：50,058人(佐賀城下ひなまつり、県維新博メモリアル展示「葉隠」、公募イベント)  
 ○佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館：17,577人  
 (企画展「博愛の行方～佐野常民を貫くもの～」、その他イベント)  
 ○さが水ものがたり館：10,203人(子どもの石井樋フェア、嘉瀬川交流塾、その他イベント)  
 ■歴史・文化に関する公民館講座：開催回数 132回、参加人数 延べ 2,882人  
 ■その他、シンポジウム・講座・イベント等

No.	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	パネル展「風景さがし今昔」 (佐賀市役所市民ホール・旧古賀銀行)	4月18日～5月7日 11月2日～11月23日	-	「松本功写真帖」の中から昭和30年～40年代に撮影された佐賀の街並みと現風景と対比させ、解説文を添えて紹介した。
2	東名遺跡出前授業 (小学校)	5月6日～7月6日 (25日間)	20校 1,412名	小学6年生を対象に、東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる授業を行った。
3	公民館連携型みえつ講座 【東与賀、新栄、嘉瀬、金立、久保泉】	令和4年7月～ 令和4年12月	348名 (全16回)	三重津海軍所跡や世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の概要・価値などを市民等に広く伝達し、身近な歴史遺産に対する愛着形成や関心向上につなげることを目的として、歴史講座を開催。令和4年度は公民館5館(東与賀、新栄、嘉瀬、金立、久保泉)と連携して開催した。
4	世界遺産を巡るスタンプラリー	令和5年2月～ 令和5年3月	335名	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」を構成する三池エリアのガイダンス施設「大牟田市石炭産業科学館」と連携し、佐賀エリア・三池エリアを巡るスタンプラリーを実施した。
5	東名遺跡体験学習 (貝輪づくり)	7月23日	44名	現生のペンケイガイを材料に、縄文時代と同じ道具(石と鹿角)を使って貝輪をつくる体験学習を行った。
6	東名遺跡企画展 (東名縄文館・市立図書館・ 吉野ヶ里展示室)	8月18日～1月15日 (131日間)	23,507名	『東名遺跡ものがたり-佐賀にあった縄文のムラ-』と題し、考古イラストレータ早川和子さん作画の東名遺跡の復元画に合わせて、遺跡から出土した資料を展示することで、子どもにもわかりやすく、東名縄文人の生活スタイルについて紹介した。
7	古文書講話会 (佐賀市立図書館)	10月4日～12月6日 (3回開催)	36名	「古文書を読んでみよう」と題し、『諫早家文書』の日記類の中から、幕末産業遺産に関する事柄の書かれた部分を抜粋して講座を開催した。
8	縄文トークイベント (佐賀市立図書館)	10月10日	57名	「東名遺跡と縄文文化」と題し、東名遺跡の特徴や重要性に触れながら、縄文文化の魅力を一般に伝えるトークイベントを開催した。
9	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」パ ネル展	令和4年11月～ 令和4年12月	110名	2県4市(福岡県、佐賀県、北九州市、大牟田市、中間市、佐賀市)で連携して福岡県みやま市立図書館でのパネル展及び講演会を行った。
10	さかの偉人生誕200年記念シンポジウム (アバンセ)	11月23日	169名	枝吉神陽・島義勇・佐野常民の生誕200年を記念し、3人にスポットをあて、演劇・基調講演・パネルディスカッションを行った。
11	発掘調査現地説明会 (精煉方跡)	11月26日	110名	幕末佐賀藩近代化産業遺産の一つである精煉方跡の一般向け発掘調査現地説明会を行った。
12	東名遺跡体験学習 (編みかごづくり)	12月3日	41名	縄文人の知恵や技を体感するため、クラフトテープを用い、東名遺跡の編みかごに見られる網代編みを中心に、小型かごの作成を行った。
13	肥前国庁講座 (肥前国庁資料館)	12月10日～3月4日 (4回開催)	81名	大宰府政府、肥後国府、豊前国府、筑後国府を題材に、講師を招き講座を開催した。
14	肥前国庁企画展講座 (肥前国庁資料館)	12月18日～1月14日 (2回開催)	43名	「古代の社会と6・7世紀の佐賀」「土蜘蛛(反乱分子)伝承」と題し、講師を招き講座を開催した。
15	肥前国庁企画展 (肥前国庁資料館)	12月13日～3月19日	1,075名	「すごいぞ！佐賀市の古代遺跡2 肥前国庁成立前夜の佐賀市」と題し、肥前国庁がなぜこの地につくられたのかをテーマに企画展を開催した。
16	世界遺産を巡るスタンプラリー	令和5年2月～ 令和5年3月	335名	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」を構成する三池エリアのガイダンス施設「大牟田市石炭産業科学館」と連携し、佐賀エリア・三池エリアを巡るスタンプラリーを実施した。
17	世界遺産交流パネル展 (佐野・三重津歴史館)	令和5年2月～ 令和5年3月	2,203名	スタンプラリー実施に合わせて、佐野・三重津歴史館で三池エリアを、大牟田市石炭産業科学館で佐賀エリアを紹介するパネル展を実施した。(歴史館：2,203人、科学館：1,735人)
18	世界遺産親子バスツアー	令和5年2月	36名	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」佐賀エリア・三池エリアを巡る親子バスツアーを実施した。
19	「佐賀市松原の歴史展」 (NHK佐賀放送局)	令和5年3月18日～ 3月26日	-	佐賀市の「松原」にスポットをあてたパネル展を開催し、鍋島報効会や佐賀市に残る古地図や古写真などの歴史資料を読み解きながら、江戸時代から現代までの佐賀市松原一帯の移り変わりを紹介した。

## 評価軸⑤-1

## 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和4年度
江戸時代の船着き場、公園に 佐賀市柳町に整備	令和4年4月5日	掲載紙等 西日本新聞
枝吉神陽・島義勇・佐野常民の突破力に迫る 「佐賀の偉人」生誕200年でシンポ	令和4年11月26日	佐賀新聞
佐賀市の三重津海軍所跡、国史跡追加指定を答申 文化審議会	令和4年12月17日	佐賀新聞
思案橋荷揚げ場跡、牛嶋口跡 市史跡指定へ佐賀市長に答申	令和5年2月11日	佐賀新聞
佐賀市松原の歴史伝える 古地図や写真など23枚展示	令和5年3月19日	西日本新聞

## 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年の三重津海軍所跡の世界遺産(構成資産)登録や、明治維新150年(平成30年)を機に高まりを見せた、幕末佐賀藩をはじめとする佐賀の歴史や文化に対する市民の興味関心を、一過性のものとしなない取り組みが継続して必要である。

## 進捗状況 ※計画年次との対応

## 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

## 状況を示す写真や資料等

著作権関係で新聞記事掲載なし

評価軸⑥-1

その他(効果等)

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目

その他(効果等) 佐賀市民意向調査

計画に記載している内容 無形の文化財の祭事日程に関する広報、埋蔵文化財発掘調査の現地報告会や考古展の開催など、文化財に対する市民啓発活動を実施しているが、市民の文化財に対する意識は、まだ高いとはいえない状態である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 令和4年度
  - 施策「未来につなげる文化の振興」に対する現状の満足度：58.8%（全36施策中6位）【前年度調査比+1.2ポイント】
  - 日常の取り組み「歴史関連イベント等に参加・活動した割合」：9.9%【前年度調査比+0.3ポイント】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

■佐賀市民意向調査

佐賀市総合計画において「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施。

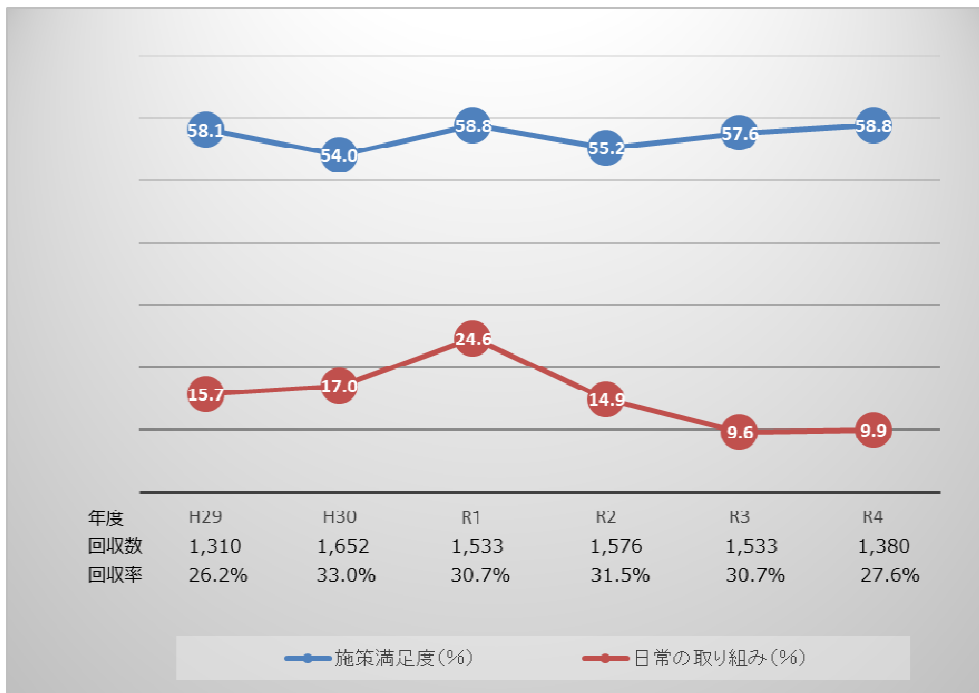
- 調査地域 佐賀市全域
- 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女：5,000人
- 抽出方法 旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別は無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布、郵送による回収

●施策に対する現状の満足度：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合

- 施策名 未来につなげる文化の振興
- 成果目標 市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。

●日頃の生活における「取り組み」：「よく参加・活動した」と「ときどき参加・活動した」を合わせた割合

- 設問 過去1年間の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。



評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：佐賀市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時：令和5年5月22日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業における石垣の耐震診断に関する情報があれば教えてもらいたい。</li> <li>●佐賀には「三重津海軍所」という立派な海軍所跡があるが、その近くの福岡県大川市にも佐賀に並ぶような海軍施設があった。そういったところとタイアップして点ではなく面でアピールしていくことも良いのではないか。</li> <li>●三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業について、イメージとして防護柵やカラー舗装等の写真が示されているが、まちの全体の構成に関わることなので、景観審議会とも連携を取りながら慎重に進めてもらいたい。</li> <li>●中央大通りの花壇に花が植えてあるが、手入れの行き届いている箇所とそうでないところがある。</li> <li>●市町村合併前の旧町村における文化財関係の文書が未だに分散しているとの説明があったが、これらは速やかに集約されるべき。また、「指定文化財管理台帳等作成事業」の事業期間が長すぎると感じる。</li> <li>●「案内・説明看板及び誘導看板データ化事業」を令和4年度に実施しているが、当初の事業計画とは少し異なっているのではないか。</li> <li>●サイン整備は重点区域外についても取り組んでいくべき。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業 石垣の耐震診断については事例が少ないため、全国の石垣修理等の情報収集を行っていきたい。</li> <li>○三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業 三重津海軍所跡のガイダンス施設がオープンし、これから現地整備も実施していく予定のため、これらと整合性を取りながら進めていきたい。</li> <li>○案内・説明看板及び誘導看板データ化事業 令和4年度は、佐賀県の事業でサインのデータ化を実施し、公開してもらったが、当初の計画内容のように、サインの板面に載せきれなかった情報の追加・充実についても検討していきたい。</li> </ul>	